

## 1. フレーム意味論

### ● 語彙単位 (Lexical Unit)

- 「見出し語がある特定の**語義=意味フレーム**(言語の発話や理解の際に必要なとなる体系的知識構造)と結びついたもの」 (Fillmore & Baker 2010:333)

### ● 多義性 (⇒Section 2)

- 「ある見出し語に**複数の語彙単位=意味フレーム**が存在する状況」

### ● フレーム要素 (Frame Element) (⇒Section 2)

- 意味フレームを構成する意味的要素
- 個々の意味フレームに即しており、具体的であることが特徴  
⇔「意味役割」

### ● 意味フレームを喚起する語 (⇒Section 3)

- 特定の品詞に限定されない

## 2. 日本語フレームネットにおける多義性

### ● 例: 多義語「思う」の分析

(出典: BCCWJ)

- Coming\_to\_believeフレーム

ある[認知者]がある[内容]に気づく

- (1) 2週間のクリスマス休暇が終わり、[通常の生活に戻ったと] **[内容]** 思ったとたん、さて2月の最初の2週間、再び学校はお休みに入る。

- Decidingフレーム  
ある[認知者]がある[決定]を行う  
(2) 軍手の中 が火照ってきて、[外そうかと] **[決定]** 思った時、当たりがきた。
- Expectationフレーム  
ある[認知者]がある[事象]を期待する  
(3) もちろん[売れるなどとは] **[事象]** 思っていないが....
- Opinionフレーム  
[認知者]がある特定の[意見]を持つ  
(4) [現代の葬式の考え方は、野蛮と言ってもいいほどぞっとする醜いものだと] **[意見]** 思っている。
- Cogitationフレーム  
[認知者]がある[主題]について思慮・思索する  
(5) そんなとき、[私たちは] [認知者] 身震いして、[愛する人たちのこと**を**] **[主題]** 思い、いつかは自分がこのような黒い行列のなかの参列者になるという思いを振り払おうとする。

## ● 動詞「思う」の目的語

- それぞれの意味フレームでフレーム要素 **[内容]**、**[決定]**、**[事象]**、**[意見]**、**[主題]**に相当。
- Cogitationフレームの(5)のみ、目的語に「を」格の格助詞を取る。  
(⇒Section 4)

### 3. 日本語フレームネットにおける類義語

#### ● 例: Cogitationフレーム

##### ● 動詞が喚起する例

(6) 地理的には全地球にわたって、分野的には全産業にわたって、テーマに関しては我々が介入するさまざまな分野にわたって、[この問題を]<sub>[主題]</sub> **考え**なければなりません。

##### ● 名詞が喚起する例

(7) 一校ごとに少なくとも三回以上は読むが、読む度にその時の**思い**が蘇り、我とわが思いに感動するのであった。

#### ● 同一意味フレームは多様な品詞の「類義語」を含む (⇒Section 5)

### 4. 曖昧性解消への応用

#### ● 日本語フレームネットは「フレーム要素」と結びつく句タイプ(例:「を」格名詞句、「と」補文)を記述

- 「を」格名詞句を取る「思う」⇒ Cogitationフレーム([認知者]がある[主題]について思慮・思索する状況)の「思う」cf. (5)

### 5. 言い換えへの応用

#### ● 動詞「思う」と名詞「思い」

(5') そんなとき、[私たちは]<sub>[認知者]</sub> 身震いして、[愛する人たちへの]<sub>[主題]</sub> **思い**をもち、いつかは自分がこのような黒い行列のなかの参列者になるという思いを振り払おうとする。

(7') 一校ごとに少なくとも三回以上は読むが、読む度にその時**思った**ことが蘇り、我とわが思いに感動するのであった。